



志布志市立 志布志小学校

児童数 267 人
学級数 17 クラス



《テーマ》 自他のよさを認め合い、いじめや偏見をなくしていこうとする意識と実践力をもった子どもの育成

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校は、「自ら学び、心豊かにたくましく生き抜く志布志の子どもを育てる」を教育目標としている。しかし、他者に対して攻撃的な言葉遣いをしたり、自分を表現することが苦手だったりする児童がいて、自己肯定感の育成が課題となっている。そこで、人権感覚、人権意識をさらに高めて、一人一人のよさを認め、尊重する具体的な態度や行動につなげていきたいと考え、このテーマを設定した。

研究の実際

5月22日・7月21日・2月26日 職員研修
4月・11月・2月 校内人権週間（旬間）
11月1日 人権教育講演会（保護者）
11月14日 人権教室（6年）スマホ・ケータイ安全教室
12月1日 ひまわり集会（全学年）
人権集会での人権教室（低・中・高学年）
心のアンケート調査による教育相談

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 児童の実態に応じた人権教室の実施

- ・ スマホ・ケータイ安全教室でコミュニケーションの取り方や使いすぎについて考えた。また、人権擁護委員の方をお招きし、子どもの権利条約の話聞いて、自他共に尊重することの大切さを学んだ。
- ・ 発達の段階や実態に応じた人権教室で人権について知り、友達と意見を交流しながら意欲的に学べた。



【人権教室 6年】

□ 校内人権週間（年3回）テーマを決めて実践

- ・ 人権標語を作成し掲示等を行い、年間を通して人権についての認識を深め、意識させた。また、振り返りに活用している。ポスターや校内放送での呼びかけ、人権に関する図書の紹介等をして意識の高揚を図った。互いの良さを伝えたり、言葉遣いについて考えたりするなど共通した実践を行い、ふわふわ言葉を掲示する学級も見られた。
- ・ ひまわり集会で、作文を読み、思いを伝え、聞き合い、感じたことを発表したり、自分の考えをまとめて話し合いをしたりしている。人権作文を書く活動を通して、様々な人権課題について考え、自他を見つめる機会となっている。昨年度は、児童による身近な人権課題についてのミニ劇をしたり、本の読み聞かせを行ったりして、人権について考えた。



【ひまわり集会】

□ 人権教育講演会

- ・ 保護者への講話で、子どもの意見を聞く場の大切さや、「わたしメッセージ」での子どもへの接し方、性的指向・性自認についての正しい理解について知ることができた。

□ 人権意識を高める職員研修の実施（年3回）

- ・ 人権教育研修資料（「なくそう差別築こう明るい社会」）を読み合い、新たに気付いたことや問題点、今後の教育実践で留意すべきこと全体で共有した。また、県教育庁人権同和教育課、市教育委員会の講師を招き、子どもの自尊感情を育むための取組などを学ぶことができた。



【人権教室】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの聲、よかったこと、今後やってみたいこと）

- アサーティブコミュニケーションの取り方など知り、傷付ける言葉を使わずに仲良く遊びたい、互いを認め合い、友達のこと自分のこと大切にする意識の高揚、思いやりのある言動が見られた。
- 保護者への講演会や人権教室を通して、人権意識を高め、家庭において自尊感情を育むための実践へと結びつけることができた。
- 職員が研修を通して人権課題についての理解を深められた。子どもの実態を捉え課題への対応について考え、Momによる人権教育の充実を図ることができた。
- 日常や人権週間等で意識したことを振り返る場を設けることで、人権教育を継続していきたい。